

豊田市駅前商業協同組合

活性化基本計画【第二期】

2013年3月
【計画期間】
平成25年度～27年度

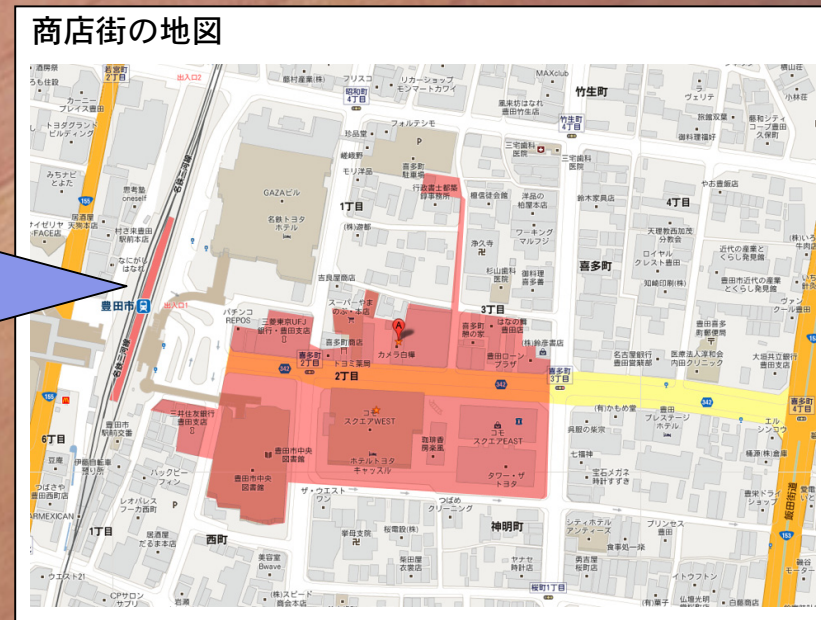
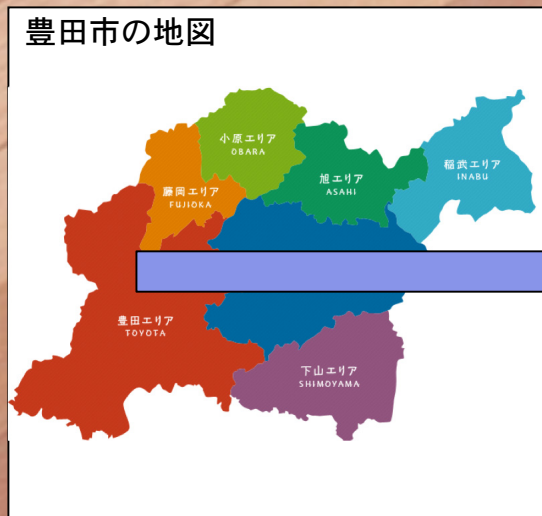
目次

1	商店街の概要		P.2~3
2	現状と課題		P.4
3	第1期活性化事業の検証 3-1 1期事業の進捗一覧 3-2 主な取組事業 3-3 目標の達成状況 3-4 1期事業の総括		P.5~10
4	第2期計画の基本方針 4-1 基本方針 4-2 目標指標、数値		P.10~11
5	事業計画 5-1 事業一覧 5-2 主な取組事業		P.12~13
6	推進体制		P.14

1.商店街の概要

本商店街は、名鉄豊田市駅の東側を東西に走る県道豊田市停車場線沿線の店舗等からなる商店街で、従来からの商業者、新規出店をしたチェーン店、再開発ビル内のテナント等を組合員としている。

再開発ビルは、豊田市中心図書館・コンサートホールなどの公共施設を有する参合館、大型ホテル・スポーツ施設・商業施設・マンションを有するコモ・スクエアが立地しており、市の中心市街地における拠点となる場所といえる。また、県道豊田市停車場線は豊田市中心市街地活性化計画のスタジアムアベニューとして位置付けられ、大型スポーツ施設「豊田スタジアム」でサッカーの試合がある時には、県内外から来る多くのサポーターで賑わっている。

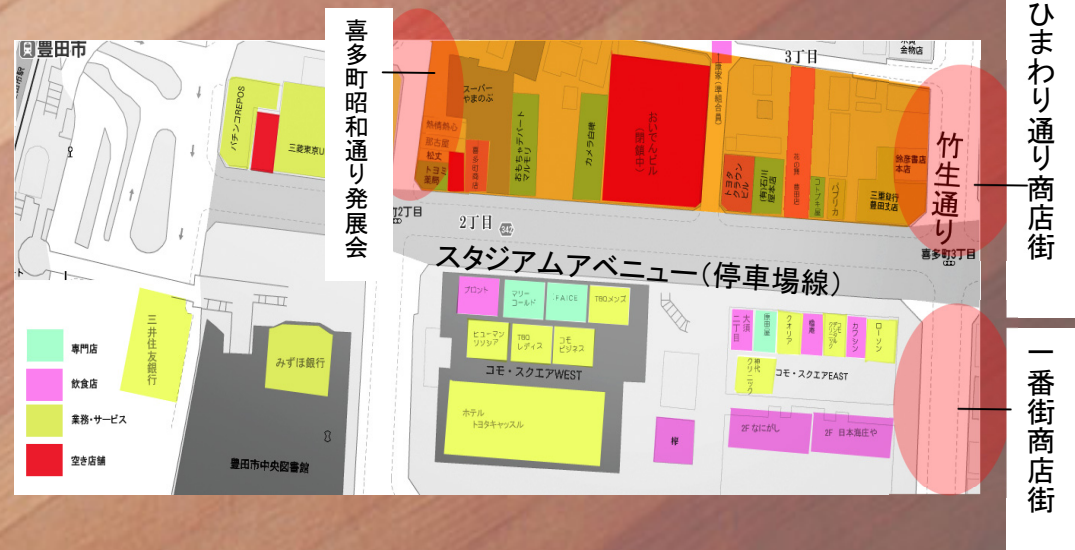
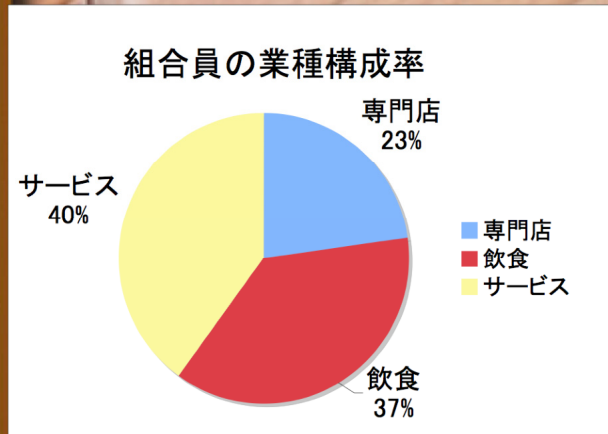


組合員の構成

2013年3月1日現在

専門店							飲食		サービス								合計
衣料	寝具	写真	薬局	玩具	お茶陶器	書籍	居酒屋	喫茶	コンビニ	医療	人材派遣	エステ	印刷	ホテル	パチンコ	銀行 (準会員)	
2店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	1店舗	10店舗	3店舗	1店舗	2店舗	1店舗	3店舗	1店舗	1店舗	1店舗	4店舗	
8店舗							13店舗		13店舗								35店舗

専門店のほとんどは30年以上の歴史在る店舗が多いが、飲食サービスに関してはこの10年に大きく入れ替わっており、またチェーン店店舗が増加してきている。又立地より銀行が4行有り3時以降の賑わいに影響がある。



ひまわり通り商店街

一番街商店街

2 商店街の現状と課題

2-1 商店街の現状

- ・ **夜間営業のみの店舗**が増加（35店舗中、8店舗）し、日中営業している店舗が減少している。
- ・ **チェーン店の組合員**が増えた（現在8店舗）ことで、商店街活動への積極的な参加協力が得られにくくなっている。
- ・ 事業主の**高齢化及び後継者の不在**。
- ・ 平日に比べ**休日の歩行者通行量が少ない**ため、日曜を休業日とする事業者が増加傾向にある。
- ・ 商店街北側で予定されている再開発事業（平成28年度完成）があることで、新規設備投資を先送りする傾向にある。
- ・ 旧長崎屋ビルは再開発事業のなかで生まれ変わってゆくが、現時点では大型空き店舗となっている。
- ・ 既存施設（アーケード&照明・各店舗）の**老朽化**が激しい。
- ・ 周辺商店街との連携・連動が、負担割合などで実施困難となっている。
- ・ 中心市街地への来街目的のうち買物が低下し、飲食・喫茶が増加している反面、**買物施設の充実**に関する期待が高い。

※中心市街地アンケート調査、豊田市中心市街地現況把握調査、組合員ヒアリング等による。

2-2 商店街の課題

- ・ 北地区再開発事業に伴う**既存店舗の取壊し工事による歩行者通行量の減少が予想される。**
（平成26年度～平成27年度）
- ・ 一時的な組合員の減少及び**会費収入の減少**による組合活動の推進力不足。
- ・ 北地区再開発事業により隣接する商店街（ひまわり通り商店街（振）、喜多町昭和通り発展会）との**今後のありかた**の検討が必要
- ・ 北地区再開発の完成を想定した**商業施策の検討・提案**が必要
- ・ 豊田スタジアムの集客イベントによる来訪者が、商店街内における**消費行動に結び付けられていない。**

3.第一期活性化事業の検証

3-1 第一期事業の進捗一覧

	事業名	内容	実施	特記事項	
取組1 メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す取り組み	①一店逸品運動への参加店の勧誘	継続 次回運動の参加店を2〜3倍増	▲	2年間理事長店舗のみの参加でH.24年度1店舗追加予定も実行委員会自体が休会	
		新規 外部講師や魅力有る経営者による講義	×	この費用を当初予定の無かった駅前通りバルに転用したため未実施	
	②専門店カアップのための勉強会開催	新規 専門講師による各店の陳列や装飾に関する訪問指導	○	ブラックボード講習会へ参加(補助)/中小企業診断士による臨店チェック(伊津田講師)	
		新規 各店の魅力・弱点などを組員にてディスカッション	○	バル開催に合わせて各店の魅力を洗い出し、メニューに反映させる検討を行った	
取組2 イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す取り組み	①情報掲示板の設置	新規 商店街加盟店店舗の取組・お買い得品・イベントなどを紹介する商店街掲示板を設置	◎	当初掲示物が少なかったが今では順番待ちをする状況。また通行者も日常的にチェックされている状況が出来、空き店舗だった壁面を大いに活用できたと考える	
	②共催イベントの実施	新規 まちパワーフェスタミニとの連動したイベントの実施	◎	まち宣イベント部長として計画に参画し、テーマ沿った商店街イベントを実施	
		新規 スタジアムイベントとの連動イベントの検討	◎	通行客の多くなる試合開催日を中心に各種おもてなし事業を、まち宣・スタジアム・体育教会下町おかみさん会等と協力し開催。(おしるこ配布等を開催)	
		継続 ふれ愛フェスタと連動したイベントの実施	◎	3年間運営本部長を務め、当商店街だけでなく全体の連動を考えたイベント実施を実現	
		継続 よるの賑わい創出(イルミネーション)と連動したイベントの実施	◎	3年間イルミ実行委員会役員を兼務し、商店街内の装飾&賑わいに寄与	
		継続 おいでんまつりと連動(観客席の設置と各店舗前ワゴンセール)	◎	おいでんにはなくてはならない観客席として設置を実施。老朽化対策で補修実施	
		新規 週末ミニライブの検討	△	コモスクエア広場で3回実施するも住民からの騒音クレームにより中断中	
		継続 年末年始謝恩大売り出し	◎	チェーン店も含め全店参加のドリームキャッチャー抽選会&装飾を実施	
		継続 桜まつり	◎	早春の町の賑わいを桜の造花&プランターの花で実施	
		新規 グランバスサイトホームページ&ブログとの連携【依頼中】	◎	グランバスだけでなく名鉄たまんカード事業とも連動、クーポンの協力も実施	
		新規 グランバスサイト勝利試合での優待UP政策	◎	サポートタウンの認定を受け、まちなかサポーター加盟店舗を中心に実施	
	③ホームページ制作	新規 商店街ホームページの立ち上げ、運営	◎	平成24年3月より本格運用実施	
	取組3 快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組み	①商店街景観の検討	新規 商店街ファサード、屋外広告看板ルール、歩道・街路灯の検討	◎	北地区再開発事業にて北側舗道拡幅や街路灯などについて検討中。都心計画に反映のため交通・自転車・賑わいの各部会に参加実施
		②舗装・アーケードの維持管理検討	継続 北地区再開発完成までの維持管理改修計画の策定	◎	北地区再開発準備組合にてアーケードの撤去などを中心に検討中
継続 落書きの除去作業			◎	違法ステッカーが頻繁に張られその都度撤去清掃を実施。落書きについてはスケボーチームへの注意指導を徹底して行い激減。	
継続 中活基本計画のフラワーロード計画との連携			▲	当組合から関連する団体部署への呼びかけを行うが地元自治区との調整に戸惑い(中活事務局)その後会議が実施されず	
継続 自転車の歩道通行の規制徹底			◎	都市計画課主催の「交通まちづくり部会」へ参加し、提案や協議を重ねており継続検討中	
③北地区再開発準備組合への関与		継続 再開発完成後の当組合の在り方を検討	◎	当地区だけでなく再開発に面する商店街とも連携して検討中	
	継続 再開発計画	◎	順調に協議を重ねH25年度本組合設立予定		
追加事業	駅前通りバル	追加 駅前通りバル	◎	当初計画に無かった事業ではあるが、西町・小坂に続き実現。降雪というアクシデントの中、約300万円の売上がこの事業により生まれ、参加者&参加店からも好評(平成24年度中に第2回を開催)	

凡例/◎想定を上回る ○想定通り ▲想定を下回る ×未実施

3-2主な取り組み事業

①情報掲示板の設置

空きビルの壁面を情報掲示板として整備。空きビルのマイナスイメージを払拭するとともに、商店街情報等を発信する場所とすることができた。



情報ボード設置前

情報ボード設置状況

②駅前通りバルの実施

はしご酒イベントを2回実施した。飲食店のみのイベントとせず、物販、サービスなどの業種を加え昼間から楽しめるイベントとし、商店街の魅力を発信した。また飲食店以外の組合活動への参加としてあとバル【残り券の各店利用】を実施した。

●第1回目 平成24年2月1～2日 参加者数904 売上金¥2,757,500



第1回告知ボード設置の写真



あいにくの降雪の中の本部テント



会議所青年部と連動したバル&婚活

●第2回目 平成25年2月6～7日 参加者数847 売上金¥2,627,100



第2回告知ボード&本部テント



第2回告知ボードとユニホーム



第2回のぼり旗設置状況

③商店街ホームページの立ち上げ

ホームページを立ち上げ商店街の情報発信の拠点とするとともに、各種イベントと連携させ効果促進を図った。

設置時期：平成23年3月～

アクセス数：3966（日平均 約11件平均）

イベント連携：駅前バルで混雑状況などをツイッターでつぶやく

ホームページの各ページ

ツイート状況

イベント時の連動誘致

3-3目標の達成状況

目標：歩行者通行量の18%の増加

平成21年度歩行者通行量

UFJ	1,989
カワシン	2,070

平成24年度歩行者通行量

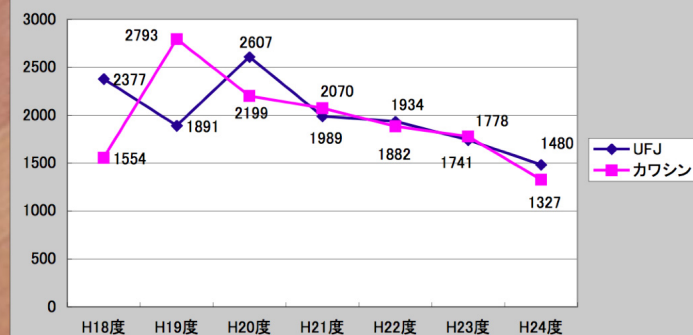
UFJ	2,347
カワシン	2,443

平成24年度歩行者通行量実績

UFJ	1,480 (対基準値 ▲26%)
カワシン	1,327 (対基準値 ▲36%)

※ 目標未達成

歩行者通行量の推移(8:00~20:00 平日)



目標達成に至らなかった理由

- 平成20年9月のリーマンショック、円高不況、東日本大震災の景気後退の影響が大きく、その歯止めとなることができなかった。

3-4第一期活性化計画の総括

- ・商店街イベント「駅前バル」を始めとした各事業の実施により商店街の情報発信、賑わいの創出を図ることができたが、経済不況の影響は大きく、目標指標が低迷した。
- ・北地区再開発準備組合が発足し再開発事業が進んでいるが、今後は解体工事などの期間において大きく集客が落ち込む事が予想される為、引き続き賑わいを繋ぎ止めるような活動が必要。

4 第2期活性化計画の基本方針

4-1 基本方針

- ・第1期活性化計画の成果を維持継続し、さらに発展させる。
- ・豊田市中心市街地活性化基本計画に沿ったものとする。

基本方針（第1期と共通）

豊田市のメインストリートとしての『賑わいの創出』と『多様性の創出』
& 『再開発を見込んだ将来像の創出』を目指す

第2期活性化計画の基本コンセプト

- ①『豊田市駅前商業協同組合は再開発工事中も賑やかで人が行きかう駅前を目指します』
- ②『再開発完了時点までの隣接商店街との連携あるいは統合を目指します』

街の将来を決定づける大事業「北地区再開発事業」の工期中も、メインストリートとしての責務として賑わいを落とすことなく、既存施設のコモスクエアとも連携して賑わいの維持を積極的に行っていきます。

北地区再開発事業の機能と連携できる事業を積極的に関与し、特に集客の弱い昼間に営業できる店舗や、来街目的となるような店舗等【2-1】で記載した現状問題点の解決関与し、商店街の賑わいを創出をめざします。

4-2 目標指標、数値

①活性化の目標指標を計画イベントの加盟組合員率とする

当組合が実施する各種イベント(バルやふれ愛フェスタ等)への参加率を現在の参加率の15%UPをめざし加盟店舗の努力を基に組合活動の魅力向上に努める事とする。

②活性化の目標指標を歩行者通行量とする。

平成24年度歩行者通行量(見込み)

カワシン前 2,552人/日
※従来はUFJ前計測値を用いたが再開発で計測機存続不明なため1地点のみとする。



平成27年度歩行者通行量

カワシン前 2,552人/日(努力目標)
2,296人/日(達成目標)

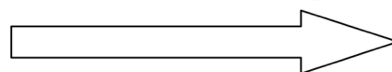
※2,552人/日はH.23年実績にH22からH23の下降トレンド(△7%)を乗じた物(パロッシー5~24時前日一日平均)

再開発事業の工期中であっても通行量の低下を抑制し、再開発事業完成後の賑わいに繋げるため**目標数値は現状の維持**とする。

但し、3年館の推移状況は14.1%の減少傾向が在り、現状維持自体が困難であることから、現状の下降トレンドを押し上げるもの(3年10%以内の減少率)を達成目標とする。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
歩行者通行量	3,194	2,742	2,950	2,745	2,552	-	-	2,552 (努力目標)
								2,296 (達成目標)

※パロッシー カワシン前 5:00~24:00 全日1日平均値



3年 14.1%減(加エトレンド)



現状維持、減少の歯止め(3年10%減以内に)

5 事業計画

5-1事業一覧

	事業名	内容	特記事項	実施時期	概算予算
取組1 メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す取り組み	①一店逸品運動への参加店の勧誘	継続 次回運動の参加店を2〜3倍増	実行委員会の動向をまち再開時には積極的に参加転を募る	H25年〜	10万円
		新規 外部講師や魅力有る経営者による講義	世情に併せたタイムリーな内容と講師を探り実施。	H25年〜	30万円
	②専門店力アップのための勉強会開催	新規 専門講師による各店の陳列や装飾に関する訪問指導	ブラックボード講習会や中小企業診断士による臨店チェック等店舗向上につながる講習を計画	H25年〜	30万円
		新規 各店の魅力・弱点などを組合員にてディスカッション	イベント時以外でも組合員を招集し組合員について意見交換を行う場を設ける	H25年〜	10万円
取組2 イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す取り組み	②共催イベントの実施	継続 まちパワーフェスタミニとの連動したイベントの実施	まち宣イベント部長として計画に参画し、テーマ沿った商店街イベントを実施	H25年〜	60万円
		継続 スタジアムイベントとの連動イベントの検討	通行客の多くなる試合開催日を中心に各種おもてなし事業を、まち宣・スタジアム・体育教会下町おかみさん会等と協力し開催。(おしるこ配布等を開催)	H25年〜	60万円
		継続 ふれ愛フェスタと連動したイベントの実施	3年間運営本部長を務め、当商店街だけでなく全体の連動を考えたイベント実施を実現	H25年〜	250万円
		継続 よるの賑わい創出(イルミネーション)と連動したイベントの実施	3年間イルミ実行委員会役員を兼務し、商店街内の装飾&賑わいに寄与	H25年〜	60万円
		継続 おいでんまつりと連動(観客席の設置と各店舗前ワゴンセール)	おいでんにはなくてはならない観客席として設置を実施。アーケード撤去時期まで	H25年〜	30万円
		継続 週末ミニライブの検討	コモスクエアが取り組みJAZZストリートとの融合を積極的に模索	H25年〜	50万円
		継続 グランパスサイトホームページ&ブログとの連携【依頼中】	グランパスだけでなく名鉄たまらんカード事業とも連動、クーポンの協力も実施	H26年〜	30万円
		継続 グランパスサイト勝利試合での優待UP政策	まちなかサポーター加盟店舗を中心に実施	H25年〜	36万円
	③ホームページ制作	継続 商店街ホームページのリニューアル、運営	スマホ対応やソーシャルビジネス新規事業(ショッピングモール)の展開を実施していく	H25年〜	36万円
	①商店街景観の検討	継続 商店街ファサード、屋外広告看板ルール、歩道・街路灯の検討	北地区再開発事業にて北側舗道拡幅や街路灯などについて検討。	H27年〜	—
取組3 快適で安全安心なまちづくりに貢献する取り組み	②舗装・アーケードの維持管理検討	継続 落書きの除去作業	違法ステッカーが頻繁に張られその都度撤去清掃を実施。書きについてはスケボーチームへの注意指導を徹底して行い激減しており引き続き維持に努める。	H25年〜	6万円
		継続 中活基本計画のフラワーロード計画との連携	当組合から関連する団体部署への呼びかけを行うが地元自治区との調整決定次第実施(中活事務局)その後会議が実施されず未確定	H26年〜	20万円
		継続 再開発計画	順調に協議を重ねH25年度本組合設立予定	H25年〜	—
	③北地区再開発準備組合への関与	継続 再開発商業委員会への参加を中心に商店街としての提案を行う	権利を有する組合員を中心に検討会議へ参加し意見提言を行っていく	H25年〜	10万円
取組4 将来に向けての取り組み	周辺商店街との統合検討	新規 周辺商店街と研究会を立ち上げる	合併実現への諸問題を解決すべく定期的に研究会を開催し意見を集約していく。	H25年〜	20万円

※ 3年間の予算

5-2主な取り組み事業

①駅前バル（1期継続）

実施時期：25年秋冬～27年秋冬 【年1回の実施】

事業費：約50万円（1回あたりの概算費用）

事業内容：今までの取組を活かし、売上げ・参加者数の向上を図る。
当組合だけのイベントとしてとどめずに中心市街地全体のイベントとして合同開催やエリアの追加などを検討し、
挙母の街の定番イベントとして育て上げていきたい。
又、お酒以外のスイーツ等違う切り口での開催も視野に！



兵庫県三田市で開催されたスイーツバル↓



②北地区再開発のアミューズメント施設との連携の検討（2期新規）

実施時期：26年4月～

事業費：約10万円（年6回開催×2年-会場費+会議費【会場代資料印刷費等】）

事業内容：検討部会を立ち上げ、今後決定していく北地区再開発のアミューズメント施設と商店街との連携について検討し、施設完成後の盛り上げを図る。

以前から言われていたが実現しない「町をショッピングセンターと見立てて…」を実現する機会として捕まえイオンモール等では当たり前になりつつある、入場券の提示で、グルメなどの優待サービスが受けられる商店街造りをめざす。

→双方がWIN&WINの関係を構築したい。



③近接商店街組合との連携又は合併の検討（2期新規）

実施時期：25年7月～【北地区再開発組合設立後よりスタート】

事業費：約20万円（年6回開催×3年-会場費+会議費【会場代資料印刷費等】）

事業内容：北地区再開発事業の近接商店街と勉強会を立ち上げ、北地区再開発事業完成後における商店街組織のあり方や効率化などを検討し、組織の統廃合を含めた検討を進める勉強会をスタート。

6 推進体制

代表理事 吉村達也

理事会(平成25年度～)

役職	氏名	事業所名
理事長	吉村 達也	(有)カメラの店白樺
副理事長	森下寿	(株)丸森玩具
会計理事	伊藤発次	(株)寿屋テイサン
理事	原田浩久	(資)原田屋
監査役	平山之郎	トヨミ薬局
特別理事	中村礼二	豊田南開発(株)

駅前通り北地区再開発組合

COMOスクエア(南開発)
テナント会

三区自治区
豊田商工会議所
豊田市商店街連盟挙母ブロック
中心市街地活性化協議会
駅前通り北地区再開発準備組合
その他関連/協力団体

メインストリートにふさわしい商品とサービスの提供を目指す

取り組み内容

- ・専門店カアップのための勉強会開催。

担当:伊藤発次
原田浩久
南開発(中村)

イベントや情報掲示を利用し賑わいと認知度の向上を目指す

取り組み内容

- ・情報掲示板の設置
- ・共催イベントの実施
- ・ホームページ制作

担当:森下 寿
平山之郎

快適で安全安心なまちづくりに貢献する

取り組み内容

- ・商店街景観の検討
- ・舗装・アーケードの維持管理検討
- ・北地区再開発準備組合への関与

担当:蟹 昌弘
吉村達也

★計画推進のための企画担当(平成25年度～)